

令和2年度 就職・公務員志望者激励会挨拶

いよいよ9月です。今年は新型コロナウイルスの影響で民間試験は10月からになりましたが、公務員志望の人はもうすぐ始まりますね。高校まではみんな同じ試験を受け、同じように進んできましたが、これからは一人ひとりがどのような人生を歩むかにより、別々の試験を受けることになります。試験が間近に迫り、今の心境は少しずつ緊張感が高まってきているところだと思います。

勝負の時、緊張するなと行っても難しいと思います。でも緊張でやってきたことを出し切れなかったとしたら残念でなりません。皆さんが力を出し切れればと思い、参考までに私自身の話をします。

今から30年以上前、私も就職試験を受けました。教員ですから秋田県教員採用試験です。その時以来、何かに挑戦する時に常に心がけてきたことが二つあります。一つは「準備」に関する事。「やるべき事はやった、これで駄目だった仕方ない」と思えるようになるまで最善の準備を怠らないことです。

もう一つは、主に面接時の心構えです。「自信をもつ」ということ。「私を採用しなければ、この職場にとって大きな損失ですよ」と言えるよう、目指す職に関して自信をもって臨むことです。これまでの本高での様々な経験は、間違いなく皆さんの力となっています。本高で学んだという誇りを自信に変え、それぞれの目標に向かって進んでください。

最後に、今は苦しくて辛い日々を送っているかもしれませんが、あと一踏ん張りです。「辛い」という漢字は一字加えると「幸せ」という漢字になります。辛い今、あともう一頑張りすれば幸せに近づけると思えます。皆さんのさらなる努力に期待します。